



市政報告

◎仙台市へのお問い合わせは
(各手続き・部署が分からない・困り事等)

仙台市総合コールセンター
杜の都 おしえてコール
☎022-398-4894
平日:午前8時から午後8時まで

土曜日・日曜日・祝日および年末年始
(12月29日～1月3日)は午後5時まで
(年中無休)
日本語のほか、英語、中国語、韓国語、
ベトナム語、ネパール語でも通じます。

仙台市議会

詳しくは仙台市議会ホームページの
会議録・議会中継からご覧いただけます。
<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

- ①第1回定例会代表質疑 令和8年2月16日
- ②予算等審査特別委員会 令和8年2月26日

◎仙台市議会ホームページ <http://www.gikai.city.sendai.jp/>

動画で見る議会



①第1回定例会
代表質疑



②予算等審査
特別委員会

第1回定例会 代表質疑 会派代表質疑 令和8年2月16日

郡市長および仙台市当局に対し、施政方針や物価高騰対策、音楽ホール・震災復興メモリアル拠点複合施設、太陽光発電パネルの義務化などの重要案件について、代表質疑を通じて質問いたしました。主なテーマおよび項目につきましては、ホームページ等でもご確認いただけますので、ぜひあわせてご覧ください。

1 | 施政方針

- ・市長の財政運営に対する考えと覚悟
- ・財政不安に対する将来世代への責任

2 | 物価高騰対策

- ・水道料金の2か月減免と各種
- ・物価高騰対策制度の設計見直し

3 | 音楽ホール複合施設と 新年度財政運営

[裏面を参照ください]

4 | 予算の単年度収支

- ・新年度予算と昨年度との違い
- ・国の複数年予算編成方針の
転換対応
- ・学校施設環境改善交付金の
不採択の要因と分析

建替え工事途中で 予算が心配された北仙台中



2025年10月

建替え工事が進む北仙台中学校。10月時点で2階部分まで完成。当初から国の補助金が継続で採択されませんでしたが、私も陳情を行い12月補正予算により事業継続のめどが立ちました。この内容が「学校施設環境改善交付金の不採択の要因と分析」から分かります。

5 | 災害対策法改正

- ・避難行動要支援者への支援の
在り方と名簿の整備の確認方法

6 | 学校プールと

水泳授業のあり方について

- ・学校プールの民間移行に伴う
費用の比較
- ・生命を守る水泳授業の教育値

7 | 「地球温暖化対策等の推進に 関する条例」、太陽光パネルの設置 義務化条例案

- ・義務化導入に伴う市民への
説明責任
- ・CO₂の削減効果と制度の妥当性
- ・消費者保護の仕組みづくり



来年(令和9年)4月から、新築住宅等への太陽光発電設備の導入がはじまります。本条例は住宅事業者への義務化であり、購入者に直接の義務はありません。設備費は約110万円(市は50万円補助予定)とされる一方、効果や安全性、廃棄処理、人権問題など課題も指摘されています。我が会派は慎重な対応を求めましたが、採決の結果少数意見で制度導入が決まりました。

8 | 仙台市太陽光発電事業の健全 かつ適正な導入、 運用等の促進に関する条例改正に 向けた骨子案

- ・秋保地区のメガソーラー
(大規模太陽光発電事業)施設の行方

9 | 介護保険制度と高齢者福祉

- ・介護報酬の物価スライド制の導入
- ・地域医療介護総合確保基金の
政令市枠要望
- ・外国人介護人材確保の取組みと
施設の連携策

実現!



AED講習を体験
して学ぶ住民の
様子
(2026年2月)

2024年(令和6年)第3回定例会で提案した、市内すべての小中学校へのAED配備が、2年をかけて完了します。現在、各校で整備が進んでおり、AEDは学校利用者に限らず地域の皆様も原則24時間利用可能な命を守る設備です。消防署や地域では救命講習も実施されていますので、万一来に備えぜひ体験してみてください。



桜丘小学校



北仙台中学校



荒巻小学校



台原中学校



中山小学校

配備がはじまった
近隣小中学校
(写真は2026年3月)



そもそも音楽ホール 複合施設問題とは？

仙台市が進める音楽ホールと震災復興メモリアルの複合施設は、約2,000席の音楽ホールと防災・減災の発信拠点を一体整備し、2031年度開館を目指すものです。文化芸術と震災の記憶を結ぶ拠点とされていますが、事業費は約646億円に膨らみ、市債依存や金利上昇(想定120億～170億円程度)による将来負担の増大が懸念されています。市民理解も十分とは言えず、内容の精査と負担の妥当性を見極めるため、一度立ち止まった検証が求められています。

① 膨らみ続ける事業費

当初218億円とされていた事業費は、その後大きく増え、工事費だけで650億円規模、利息を含めると最大で総額800億円とも言われています。短期間で数百億円増加しており、物価高騰の影響を考えると今後さらに増える可能性もあります。これほどの巨額事業でありながら、事業費の上限が明確に示されていない点が大きな課題です。

② 将来世代への長期負担

市の試算では年間運営費は約18億円、収入は約4億円程度とされ、差し引き毎年約14億円の税負担が必要と見込まれています。この状態が長期間続けば、市民負担は数百億円規模に及ぶ可能性があります。建設費だけでなく、完成後の維持管理費を含めた長期的な財政影響を慎重に検証する必要があります。

③ 需要予測は現実的か

大ホールの稼働率は約9割と想定されていますが、その根拠となる需要調査は2020年のものです。その後、社会状況や文化施設を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに宮城県の新県民会館(約2,200席)も開館予定であり、大型ホールが短期間に複数整備される状況となります。需要予測の妥当性は改めて検証が必要です。

④ 複合施設の意義

今回の計画は音楽ホールと震災メモリアル機能を一体化した複合施設です。しかし文

音楽ホール計画 このまま 進めてよいのか 膨らみ続ける事業費 —市民の理解と納得は得られているのか—



音楽ホール・震災復興メモリアル拠点複合施設完成イメージパース

決議案の提出

採決できず否決

本施設整備をめぐり、我が会派は他会派の賛同も得て附帯決議案を提出しましたが、過半数に届かず可決には至りませんでした。

決議案の趣旨(抜粋)は、これまでハード整備が先行し、事業内容や運営の検討・説明が不十分である点、事業費の大幅増による市民負担への懸念、市民理解の不足を指摘しつつ立ち止まるべきと提案しました。

その上で、施設の目的や必要性、県民会館との役割分担、将来の財政負担について丁寧な説明を求め、市民意見を反映した見直しと議会への報告を経て、次の段階へ進むべきとする内容です。



2025年12月

視察した高崎芸術劇場。質の高い音楽ホールとして数多くの本格的な公演や催事が行われています。ご覧のとおり、外観は非常にシンプルな造りとなっています。

化芸術の鑑賞空間と、震災の鎮魂や記憶継承を担う施設は性格が大きく異なります。両者を同じ施設として整備することが適切なのか、市民の中でも様々な意見があります。施設の目的や意義について、より丁寧な議論が求められています。

⑤ 箱づくり先行の懸念

文化施設は本来、「どのような事業を行うのか」という運営戦略を明確にした上で、必要な規模や機能を決めるべきです。しかし今回の計画では、具体的な運営内容や事業計画が十分に示されないまま、施設整備の議論が進んでいるとの指摘があります。施設ありきではなく、運営のあり方から検討する必要があります。

⑥ 市民理解は十分か

市の調査*でも、この計画を「よく知らない」と答えた市民が半数以上にのぼっています。独自調査では約3分の2が計画を知らないという結果もあります。最大で総額800億円規模とも言われる大型事業を進めるには、市民の理解と納得が不可欠です。丁寧な説明と十分な合意形成が求められています。

(※仙台市文化芸術に関する意識調査・令和8年1月)

今後の予定

いずれも入場無料です。
お問い合わせをお越しください。

6月20日(土)

市政報告会 14:00～15:00

荒巻コミュニティ・センター
青葉区あけぼの町12-20

6月21日(日)

市政報告会 14:00～15:00

桜ヶ丘コミュニティ・センター
青葉区桜ヶ丘6丁目24-17

6月28日(日)

市政報告会 14:00～15:00

北仙台コミュニティ・センター
青葉区北根4-10-11

連絡先

仙台市議会議員 あとべ薫事務所

〒981-0924 仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22

TEL.022-728-8588 FAX.022-728-8587

【e-mail】info@atobe-kaoru.com

